

第3章 「つむぐ」健康・福祉



綿花から糸をつむぐ

3

つむぐ 健康・福祉

わけへだてなくつながりを「つむぎ」あえるまちづくり

繊維を引き出して糸にすることを「つむぐ」と言います。高島では古くから撚糸業が営まれ、繊維産業が発展してきました。

健康・福祉のまちづくりは、糸によりをかける「撚糸」の様子に例えました。

人と人が支え合い、誰もがわけへだてなく心と心を「つむぎ」あえるまちづくりに取り組みます。

[施策体系]

施策項目1 健康でいきいき暮らせる地域をつくります

P.3-4

方針1 スポーツによる健康づくりを推進します

P.3-6

- 施策① スポーツ団体支援による健康づくりの推進
- 施策② 身近な地域での多様なスポーツ機会の提供
- 施策③ 地域連携による競技スポーツの振興
- 施策④ 健診機会を利用した運動習慣づくりの啓発

方針2 生活習慣の改善や健康チェックの機会を提供します

P.3-8

- 施策① 高島産食材や発酵食品を活かした食育推進
- 施策② がん検診の受診によるがん死亡率の減少
- 施策③ 定期的な健診受診による健康づくりの推進
- 施策④ 健康相談や健康教室による生活習慣の改善

方針3 生きがいを持って高齢期が過ごせる環境を整えます

P.3-10

- 施策① 地域での介護予防の推進とリーダーの育成
- 施策② 高齢期における生きがいづくりの推進
- 施策③ 居場所づくりによる社会参加の促進

方針4 障がいへの理解を深め暮らしを支える環境を整えます

P.3-12

- 施策① 研修やイベントによる障がい理解の促進
- 施策② 市内事業所への障がい者雇用の促進
- 施策③ 誰もが主体になれる地域社会の構築

施策項目2 もしもの時に備える体制を整えます

P.3-14

方針1 支援が必要になった時に相談できる体制を整えます

P.3-16

- 施策① 全世代・全対象型地域包括支援体制の構築
- 施策② 医療機関と地域包括支援との連携
- 施策③ 経済的・社会的孤立などの生活困窮者支援
- 施策④ 困難を有する子ども・若者や家族への支援

方針2 いつまでも地域で暮らせる体制を整えます

P.3-18

- 施策① 多様な主体による生活支援サービスの提供
- 施策② 仕事や子育てが両立できる介護支援
- 施策③ 質の高い介護サービスの提供
- 施策④ 高齢者虐待未然防止と相談支援体制の充実

方針3 保健や福祉と連携した医療サービスを提供します

P.3-20

- 施策① 地域完結型の医療サービスの提供
- 施策② 保健・福祉連携による在宅療養体制の構築
- 施策③ 救急医療情報の提供による安心感の確保
- 施策④ 満足度の高い安定した病院経営

基本構想

産業・経済

子育て・教育

健康・福祉

暮らし・文化

生活基盤

行政経営

施策項目

1

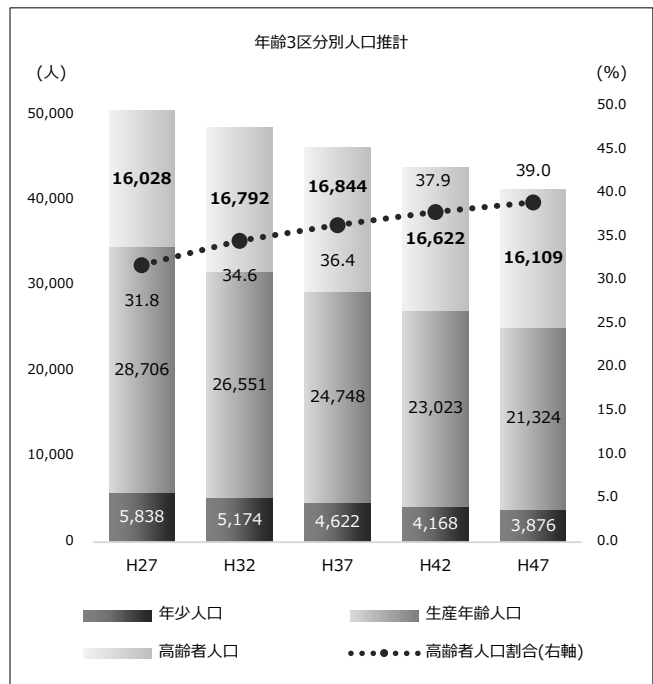
健康でいきいき暮らせる地域をつくります

◆ 基本的な考え方

第1次高島市総合計画では、健康で暮らせる地域づくりや明るく元気な高齢社会の実現などに取り組んできました。第2次総合計画策定のための市民アンケート調査では、今後重点を置くべき施策として、超高齢社会に対応した福祉の充実が求められています。

右のグラフのように、高島市における年齢区別の人口推計では、平成37年ごろに65歳以上人口が最大を迎えるとされており、64歳以下人口の減少により、高齢化率の上昇はさらに続くと予想されています。

このことから、子どもや現役世代の健康づくりはもちろん、高齢者の健康維持や経験を活かした生きがいづくり、活躍の場づくりによる健康寿命の延伸とあわせ、障がいに対する理解の促進を図り、誰もがわけへだてなく、それぞれの個性や能力を活かしながら、自分の地域で自分らしくいきいきと暮らせるまちづくりに取り組みます。



出典：国立社会保障・人口問題研究所推計

◆ 政策間連携の視点

健康づくりは、個人はもちろん地域ぐるみで意識を高め、幼少期から運動習慣や正しい食習慣を身につけることが必要です。また、食育については、高島市の魅力でもある農産物や発酵食品を取り入れた食生活の普及・啓発など、健康づくり面からの地産地消の推進が必要です。さらに他分野が連携して、高齢者や障がい者の活躍できる場所や居場所・生きがいづくりが必要です。

第1章
「かもす」産業・経済

- ✓ 食育への高島産食材や発酵食の活用
- ✓ 高齢者や障がい者の雇用の促進
- ✓ 生活支援サービスの充実

第2章
「あゆむ」子育て・教育

- ✓ 講師など知識や意欲を活かした高齢者の活躍の場づくり
- ✓ 高齢期や障がいに対する理解の促進
- ✓ 学校教育と連携したスポーツの振興

第4章
「せせらく」暮らし・文化

- ✓ 地域活動と高齢者の見守り活動との連携
- ✓ バリアフリーやユニバーサルデザインによる共生社会の構築
- ✓ 交通事故や犯罪に関する啓発による被害の未然防止

第5章
「ささえる」生活基盤

- ✓ 公共交通の充実による移動手段の確保
- ✓ 安全・安心な道路網の整備
- ✓ 高齢期が暮らしやすい都市整備



◆ 市民協働の視点

第2次高島市総合計画の策定にあたり実施した、市民ワークショップや市民アンケート調査、団体ヒアリングなどの意見を、施策の推進にあたっての「市民協働の視点」としてまとめました。

個人でできること

- ◆ 自分のメンタルケアを心がける
- ◆ 身近な相談相手をつくる
- ◆ 健康に気をつける
- ◆ 運動や家事の習慣をつくる
- ◆ 障がいに関する相談窓口を知る
- ◆ 障がい者について、一人ひとり違うことを理解し正しい知識を得て、互いに交流する
- ◆ 高齢者が伝統の継承や昔ながらの遊びによって若者と交流をする
- ◆ 高齢者との関わりを大切にする
- ◆ 地域の高齢者世帯を気にかける

地域でできること

- ◆ 地域で生きがい、健康づくりにつながる企画を検討する
- ◆ サロンなどの楽しめる場所をつくる
- ◆ 健康教室に地域の住民を巻き込んで参加する
- ◆ 話ができる場所や新しい企画をつくって健康への意識を高める
- ◆ 地域で障がいについての正しい知識を身につけ、障がい者を理解して交流する
- ◆ 障がい者の地域サポーターを増やす
- ◆ 地域に高齢者が活躍できる場をつくる
- ◆ 地域で散歩しやすい環境をつくる
- ◆ 隣近所と会話をするように心がけ、変化に気づくようにする

施策項目
1

方針 **1** スポーツによる健康づくりを推進します

現状

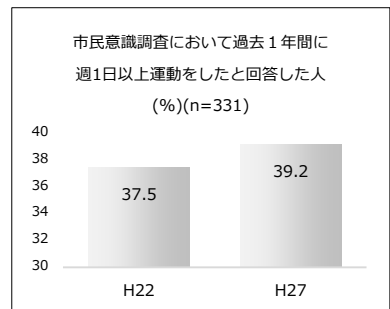
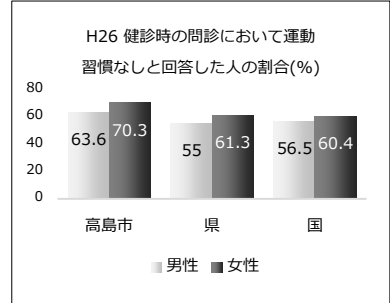
- 健康診査時の問診によると、運動習慣なしと回答した人の割合が、県や国と比較して男女とも高くなっています。

*出典：市調査

- スポーツ推進計画の市民意識調査によると、週1回以上運動すると回答した人が平成22年は37.5%でしたが、平成27年は39.2%となっています。

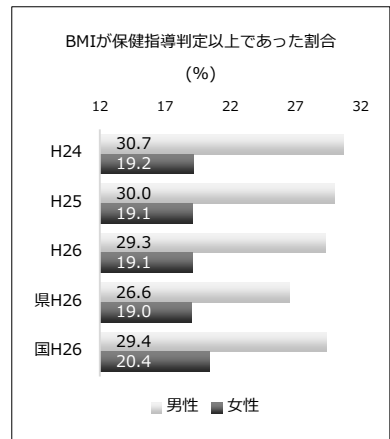
- 健康診断の結果、BMI*が保健指導判定値以上であった割合は、男性が約30%前後で推移しており、平成26年度は国と同水準ですが、県の26.6%より高くなっています。女性は約19%で推移しており、国より低く、県と同水準です。

*BMI：ボディマス指数。肥満度を表す体格指数 *出典：市調査



課題

- 健康や生きがいづくりの観点から、全世代がスポーツに親しむ機会をつくる必要があります。
- 地域のつながりをつくる場としての、身近な地域でのスポーツの機会づくりや参加の呼びかけを行う必要があります。
- ウォーキングやサイクリングなど、誰もがいつでも気軽にできて、高島市の自然の魅力を肌で感じることができるスポーツの推進を図る必要があります。
- スポーツ活動に関わるスポーツボランティアを育成し、スポーツの楽しさへの理解を深める必要があります。



1 スポーツ団体支援による健康づくりの推進

スポーツ関係団体への支援を行い、子どもから大人・高齢者まで、世代や地域・障がいの有無などを越えたつながりづくりと生きがいづくりの機会を提供します。

主な取り組み内容

- ・ 体育協会への支援
- ・ 競技団体への支援
- ・ スポーツ少年団への支援

めざす姿 体育協会加入者数（年度実績）

現状(H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
3,369人					3,400人					→

関連個別計画 教育大綱、スポーツ推進計画

実行部門 教育総務部

2 身近な地域での多様なスポーツ機会の提供

身近な地域において多様なスポーツの機会を提供するとともに、スポーツボランティアを育成し、スポーツに親しむ機会と運動習慣づくりのきっかけにつなげます。

主な取り組み内容

- ・ スポーツ推進委員活動
- ・ 総合型地域スポーツクラブへの支援
- ・ 身近なスポーツイベントの実施
- ・ スポーツボランティアの育成

めざす姿

「週1回以上運動した」と回答した人の回答率（市民意識調査）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
39.2 %					↑	65.0 %				↑

関連個別計画

教育大綱、スポーツ推進計画

実行部門

教育総務部

連携施策

P.4-8,9 地域社会

3 地域連携による競技スポーツの振興

体育協会を中心に、各種競技大会の水準の向上を図るとともに、スポーツ関係団体や機関の相互連携を推進し、子どもから大人まで競技者の育成環境を整えます。

主な取り組み内容

- ・ 体育協会の組織力強化への支援
- ・ 市民体育大会参加者の拡大
- ・ 各種競技大会の広報の充実

めざす姿

市民体育大会の参加者数（年度実績）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
2,360 人					↑	2,900 人				↑

関連個別計画

教育大綱、スポーツ推進計画

実行部門

教育総務部

連携施策

P.2-18,19 学校教育

4 健診機会を利用した運動習慣づくりの啓発

健康診査の機会を利用し運動習慣づくりの周知・啓発と身近にできるスポーツを紹介し、運動習慣の定着と健康寿命の延伸につなげます。

主な取り組み内容

- ・ 健康診査の実施
- ・ 保健指導の実施
- ・ 運動指導を含む地域出前講座の実施

めざす姿

1回30分以上の汗をかく運動を週2日以上1年以上実施している人の割合（健康診査時の問診調査）

現状 (H26)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
32.5 %					35.0 %					37.5 %

関連個別計画

健康たかしま2 1プラン、データヘルス計画

実行部門

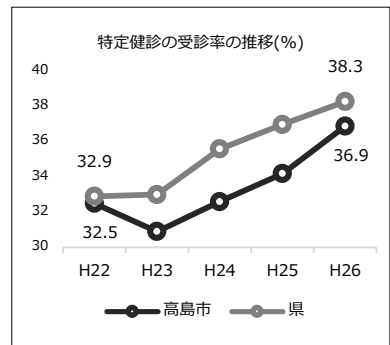
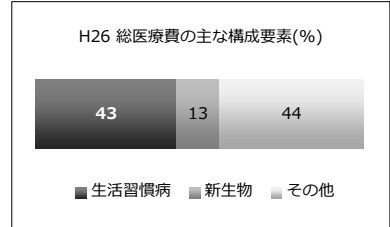
健康福祉部

施策項目
1

方針 2 生活習慣の改善や健康チェックの機会を提供します

現状

- 高島市の医療費のうち、生活習慣病の占める割合が43%と最も高くなっています。 *出典：医療費分析ツール「FOCUS」
- 特定健診の受診率は、平成23年度の30.9%から平成26年度は36.9%と増加傾向にありますが、40代・50代の受診率が低くなっています。 *出典：法定報告
- 標準化死亡比*で比較すると、2次医療圏別全がん死亡率における女性の値が、全国ワースト10となっています。
*出典：全国地域別・病床機能情報等データベース
*標準化死亡比：全国値を100としたときの地域の死亡の度合いを示す数値
- 健康診査時の問診調査では、「今後も生活習慣を改善するつもりはない」と回答した人の割合は37.6%となっており、県平均の28.7%より高くなっています。



課題

- 改善が可能な生活習慣病の予防や改善について、健診の受診率の向上や食育による食生活の見直しなど、健康づくりの意識向上に地域ぐるみで取り組む必要があります。
- がんによる死亡率が全国や県平均より高いため、検診の受診率の向上等により、早期発見・早期治療につなげる必要があります。
- 高島産の食材や伝統食である発酵食品などを活用した、高島ならではの食育を推進することにより、食の豊かさを健康づくりにつなげる必要があります。

1 高島産食材や発酵食品を活かした食育推進

子どもから大人まで高島産食材や発酵食品など高島らしさを活かした地域ぐるみでの食育を推進し、地域の良さの再発見と食生活の改善による健康づくりを行います。

主な取り組み内容

- ・ 健康推進員による地域での普及啓発活動の実施
- ・ 食育事業の実施
- ・ 地産地消の推進

めざす姿 食育事業の参加者（年度実績）

現状(H26)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
51,568人					100,000人					100,000人

関連個別計画 食育推進計画、健康たかしま2 1プラン

実行部門 健康福祉部

2 がん検診の受診によるがん死亡率の減少

がん検診の受診機会の提供と定期的な受診の啓発を行い、がんの早期発見・早期治療によりがん死亡率の減少を図ります。

主な取り組み内容

- がん検診の実施
- がん検診啓発事業の実施
- 要精密検査者の確実な受診

めざす姿 がん検診の受診率（年度実績）

現状 (H26)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
胃がん5.3% 大腸がん11.9% 乳がん20.7% 子宮頸がん20.9% 肺がん1.5%					↑					↑

関連個別計画 健康たかしま 2 1 ブラン、データヘルス計画

実行部門 健康福祉部

3 定期的な健診受診による健康づくりの推進

定期的に健診を受ける機会の提供と受診への啓発を行い、市民自らが自分の体に関心を持つとともに健康チェックによる必要な生活習慣の改善を図ります。

主な取り組み内容

- 健康診査の実施
- 特定健康診査の実施
- 健康診査受診啓発事業の実施

めざす姿 特定健康診査の受診率（年度実績）

現状 (H26)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
36.9 %					60.0 %					65.0 %

関連個別計画 健康たかしま 2 1 ブラン、データヘルス計画、特定健康診査等実施計画

実行部門 健康福祉部

4 健康相談や健康教室による生活習慣の改善

健康に関する相談や教室を身近な地域で開催し、不安の解消や生活習慣の改善につなげます。

主な取り組み内容

- 健康に関する相談の実施
- 健康教室の実施
- 健康推進員と連携した啓発事業の実施

めざす姿 「今後も生活習慣を改善するつもりはない」と回答した人の割合（健康診査時の問診調査）

現状 (H26)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
37.6 %					33.2 %					28.7 %

関連個別計画 健康たかしま 2 1 ブラン、データヘルス計画

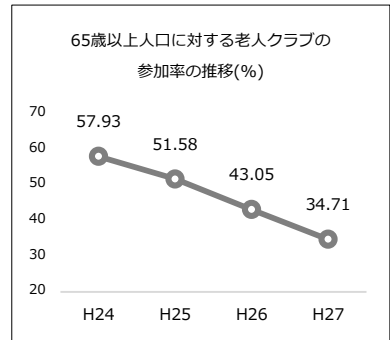
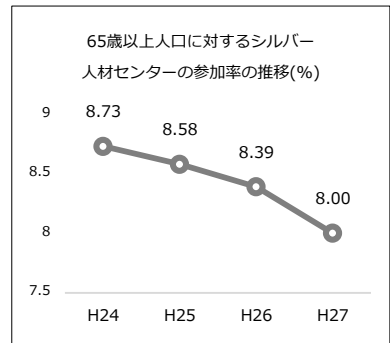
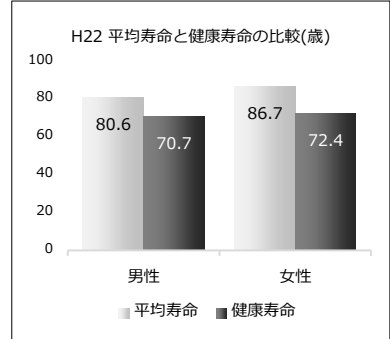
実行部門 健康福祉部

施策項目
1

方針 3 生きがいを持って高齢期が過ごせる環境を整えます

現状

- 平成22年の滋賀県の健康寿命は、男性が70.7歳、女性が72.4歳となっており、平均寿命より男性が9.9歳、女性が14.3歳低くなっています。 *出典：健康たかしま21プラン
- 高島市シルバー人材センターの会員数は、平成24年度は545人でしたが、平成27年度は554人となっています。65歳以上人口に対する参加率は年々減少しています。
- 高島市老人クラブ連合会の加盟会員数は、平成24年度は3,618人でしたが、平成27年度は2,404人と減少傾向にあります。また、65歳以上人口に対する参加率は、平成24年に57.93%でしたが、平成27年は34.71%と23.22ポイント減少しています。



課題

- 高齢期を生きがいを持って健康に暮らすために、人生経験や興味・関心を活かした活躍の場をつくる必要があります。
- 健康を維持するために、介護予防の啓発に取り組むとともに、地域リーダーの育成を図り、身近な地域における介護予防の拠点づくりや居場所づくりを行い、地域の見守りにつなげる必要があります。

1 地域での介護予防の推進とリーダーの育成

身近な地域での介護予防に対する取り組みを支援し、高齢者自身がリーダーとして介護予防を行う体制を整えます。

主な取り組み内容

- ・ 介護予防体操「高島あしたの体操」の普及
- ・ 介護予防出前講座の開催
- ・ 地域における介護予防活動の支援

めざす姿 介護予防に取り組む団体数(年度実績)

現状(H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
60団体					110団体					120団体

関連個別計画 高齢者福祉計画・介護保険事業計画、健康たかしま21プラン

実行部門 健康福祉部

2 高齢期における生きがいづくりの推進

高齢期における雇用や地域活動などを行う団体などを支援し、高齢期に生きがいを持って暮らせる地域づくりを推進します。

主な取り組み内容

- ・ シルバー人材センターの支援
- ・ 老人クラブの支援
- ・ 地域活動や文化活動への参加促進
- ◆ 高齢者雇用／ソーシャルファーム支援事業

めざす姿 シルバー人材センターの延就業者数（年度実績）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
25,220 人					27,800 人					30,600 人

関連個別計画

◆まち・ひと・しごと創生総合戦略
高齢者福祉計画・介護保険事業計画、介護保険事業計画、健康たかしま2 1プラン

実行部門

健康福祉部

連携施策

P.1-6,7 雇用・創業

P.1-8,9 農業

P.1-10,11 林畜水産業

P.2-22,23 人材育成

P.4-10,11 文化活動

3 居場所づくりによる社会参加の促進

高齢者が主体的に運営に参画する、子どもから高齢者まで多世代が集える地域の居場所づくりを支援し、孤立防止や介護予防、高齢者の社会参加につなげます。

主な取り組み内容

- ・ 高齢者の社会参加の普及啓発
- ・ 地域における居場所づくりへの支援
- ・ 青少年とふれあえる機会の創出

めざす姿 サロン等地域の居場所への参加人数（年度実績）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
19,727 人					21,000 人					23,000 人

関連個別計画

高齢者福祉計画・介護保険事業計画、健康たかしま2 1プラン

実行部門

健康福祉部

連携施策

P.2-22,23 人材育成

P.4-6,7 住民自治



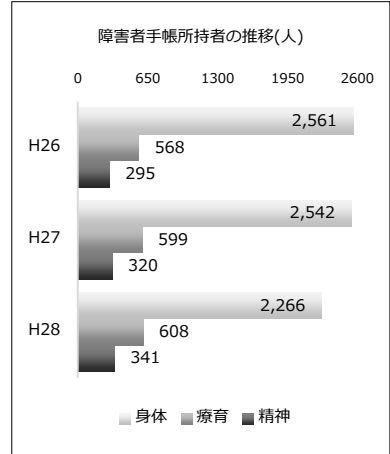
高齢者サロンの様子

施策項目
1

方針4 障がいへの理解を深め暮らしを支える環境を整えます

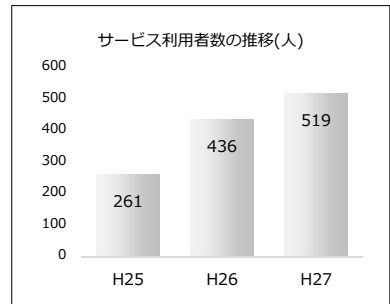
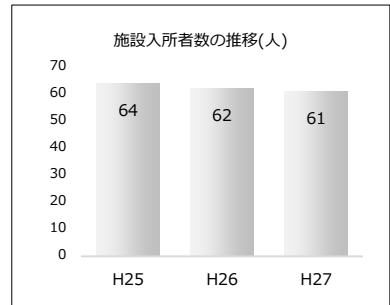
現状

- 障害者手帳所持者は、身体障がいについては横ばい傾向ですが、療育が平成26年3月末で568人から平成28年3月末で608人、精神障がいが平成26年3月末で295人から平成28年3月末で341人と、それぞれ増加傾向にあります。
- 平成27年度の障がいに関するサービス受給者は519人、施設入所者数は61人となっており、満床状態が続いています。市外のサービスを利用されている方もいます。
- 施設の受け入れ定員は、入所が3か所136人、通所支援は生活介護が6か所218人、就労支援B型が8か所147人、就労移行支援が2か所16人となっており、すべてにおいて定員数を満たしています。市外からの利用者もあります。



課題

- 障がいのある方が、地域の一員として自立した生活が送れるよう、誰もが障がいの理解を深めるとともに、継続した支援を行う必要があります。
- 障がいのある方にとって暮らしやすい地域をつくる必要があります。
- 障がいのある方が自立した生活を送れる環境を整えるため、市内事業所への啓発を行い、雇用を促進する必要があります。



1 研修やイベントによる障がい理解の促進

事業所や地域に対して障がいに関する研修会やイベントなどを開催し、障がいへの地域理解を深めるとともに安心して暮らせる環境を整えます。

主な取り組み内容

- ・ 事業所や地域への研修事業の実施
- ・ イベントなどによる交流事業の開催
- ・ 障がい者への虐待防止啓発の実施
- ・ 障がいに対する相談体制の強化

めざす姿

小・中学校での福祉授業の実施回数（年度実績）

現状(H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
11回					13回					19回

関連個別計画

障がい者計画、障がい福祉計画

実行部門

健康福祉部

2 市内事業所への障がい者雇用の促進

障害者雇用促進法による法定雇用率*を維持するとともに、従業員50人未満の事業所への雇用の促進し、就労を希望する障がい者の働く場所の確保を図ります。

主な取り組み内容

- ・ 障がい者雇用に関する相談機能の強化
- ・ 障がい者に対する就労支援の推進
- ◆ 高齢者雇用／ソーシャルファーム支援事業

めざす姿

働き・暮らし応援センターにおける相談者実人数に対する一般就労割合（年度実績）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
7.7 %					8.5 %					9.0 %

関連個別計画

◆まち・ひと・しごと創生総合戦略、障がい者計画、障がい福祉計画

実行部門

健康福祉部

連携施策

P.1-6,7 障がい者雇用

P.4-8,9 地域社会

*障害者雇用促進法による法定雇用率……従業員50人以上の事業主には、障害者雇用促進法により一定率になるように身体障害者・知的障害者の雇用が義務付けられています。

3 誰もが主体になれる地域社会の構築

障がいの有無に関わらず、誰もがともに地域の一員として生きがいを感じる環境を整えることにより、自立した生活が送れる地域社会をつくります。

主な取り組み内容

- ・ 社会参加のための環境整備
- ・ 学習、スポーツ、文化活動への参加支援
- ・ ボランティア団体等との連携
- ・ 移動支援等外出支援サービスの充実
- ・ 障がい者相談支援の充実
- ・ 精神障がい者サロンの開催

めざす姿

市内各種イベントに参加した障がいのある方の人数（年度推計）

現状 (H26)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
2,260 人					↑					↑

関連個別計画

障がい者計画、障がい福祉計画

実行部門

健康福祉部

連携施策

P.4-6,7 住民自治

P.4-8,9 共生社会

P.4-10,11 文化振興



サマーホリデーの様子

施策項目

2

もしもの時に備える体制を整えます

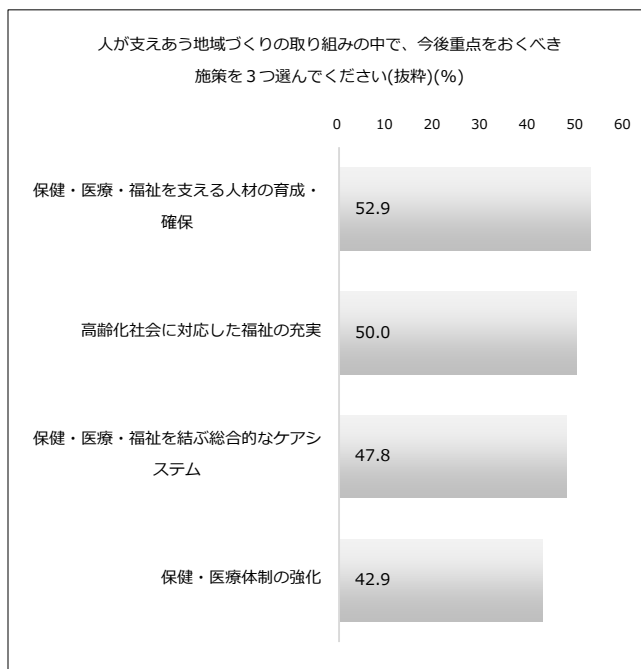
◆ 基本的な考え方

人口構造の変化は、要介護認定率の増加傾向、高齢者の二人暮らし世帯や単身世帯の増加傾向にも表れています。また、非課税世帯や生活保護の被保護世帯も増加しており、経済的な基盤の不安定さが伺えます。

介護においては、高齢者同士のいわゆる老老介護はもとより、介護と子育てとの両立、いわゆるダブルケアの増加も予想され、介護者の心と体の健康はもちろん、仕事そのものを失うことにつながりかねません。

今後は、介護サービスそのものの充実に加え、事業所などへ休暇や短時間勤務を取得しやすい労働環境の改善などを働きかけるとともに、子育て・育ちなどを含めた地域での見守りを強化する必要があります。

このことから、子ども・大人を問わず、生きづらさや困りごとを抱えたときに、どんなことでも気軽に相談できて必要なサービスにつなげることができる、多分野連携による相談体制づくりに取り組みます。



出典：H27.10 市民アンケート調査(n=924)

◆ 政策間連携の視点

経済的な基盤を確立することは、生きる意欲につながります。このため、就労に関する支援については産業・経済分野においても連携する必要があります。また、小さなSOSを発見するため、子育て支援や地域の居場所づくりの取り組みの中で、日ごろから顔の見える関係を構築しておく必要があります。

第1章
「かもす」産業・経済

- ✓ 労働環境の改善や事業所の理解促進による仕事と介護の両立
- ✓ 生活困窮者の就労先の確保

第2章
「あゆむ」子育て・教育

- ✓ 支援制度の充実による介護と子育ての両立

第4章
「せせらぐ」暮らし・文化

- ✓ 地域のつながりの強化による見守り活動
- ✓ 救急体制の充実



◆ 市民協働の視点

第2次高島市総合計画の策定にあたり実施した、市民ワークショップや市民アンケート調査、団体ヒアリングなどの意見を、施策の推進にあたっての「市民協働の視点」としてまとめました。

個人でできること

- ◆ かかりつけ医を持ち、周囲にもかかりつけ医制度を紹介する
- ◆ 医療機関への不必要な受診をやめる
- ◆ 医療や健康に関して身近な相談相手をつくる
- ◆ 家族や友人など身近な人の変化に気づくように心がける
- ◆ 地域の高齢者を気にかける
- ◆ 日常のあいさつ等、高齢者との交流を図る

地域でできること

- ◆ 高島市民病院を盛り立てる
- ◆ 地域ネットワークの強化や見守りを行って高齢者が安心できる環境をつくる
- ◆ 見守りが必要な高齢者世帯を地域で共有する
- ◆ 交流ができるカフェやサロンの開設など、高齢者同士のコミュニティを形成する



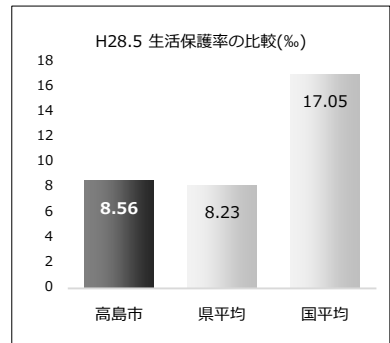
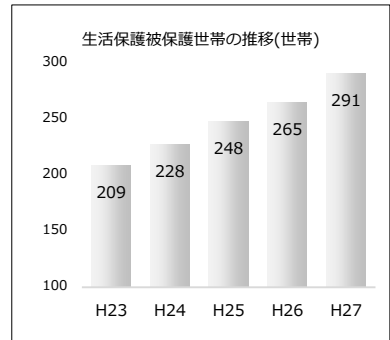
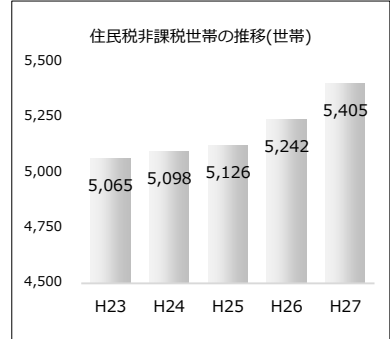
高島市民病院外観

施策項目
2

方針 1 支援が必要になった時に相談できる体制を整えます

現状

- 住民税非課税世帯は、平成23年度は5,065世帯でしたが、平成27年度は5,405世帯と増加傾向にあります。 *出典：市調査
- 生活保護の被保護世帯数は、平成23年度は209世帯でしたが、平成27年度は291世帯と増加傾向にあります。 *出典：市調査
- 平成28年5月時点の生活保護率*は8.56%で、全国平均の17.05%には及ばないものの、県平均の8.23%を上回っています。
*生活保護率……「被保護実人員（1か月平均）」÷「各年10月1日現在総務省推計人口（総人口）」×1000 で算出。単位は%（パーミル）
- 全国的に居場所をなくしたり支援を必要とする子どもや若者が増加しており、子ども・若者支援センター「あすくる高島」においても、年間を通じて新規の相談があります。



課題

- 暮らしに困難を抱えたときに、いつでも気軽に相談できる体制を構築する必要があります。
- 地域の見守りにより、早期にSOSを発見し、必要な支援につなげる体制を構築する必要があります。
- 刻々と変化する社会状況を踏まえ、今を生きる子どもや若者に対する正しい認識の向上を図る必要があります。
- 多様な窓口が情報を共有するために、淡海あさがおネット（在宅療養支援システム）を活用した地域包括支援機関の連携を図る必要があります。

1 全世代・全対象型地域包括支援体制の構築

妊娠や出産、子育て、健康、障がい、高齢、生活困窮など全対象・全世代型地域包括支援体制を構築し、誰もがもしもの時に相談できるネットワークを整えます。

主な取り組み内容

- ・ 全世代・全対象型地域包括支援体制の構築
- ・ 身近で多様な窓口体制の充実
- ・ 支援サービスとのスムーズな連携体制
- ・ 庁内連携体制の構築

めざす姿

相談窓口（連携団体、事業所）数（年度実績）

現状(H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
7者					100者					180者

関連個別計画

地域福祉計画、高齢者福祉計画、介護保険事業計画、障がい者計画
子ども・子育てあくしよんぶらん、健康たかしま21プラン

実行部門

健康福祉部

2 医療機関と地域包括支援との連携

市民病院に患者相談支援センターを設置し、医療相談とあわせて、保健や福祉などの相談には専門機関を紹介するなど、多様な相談に応じ支援につなげます。

主な取り組み内容

- 患者相談支援センターの充実
- 専門機関とのネットワークの構築

めざす姿

淡海あさがおネット市内登録件数（年度実績）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
483 件					↑					↑

関連個別計画

市民病院経営改革プラン

実行部門

市民病院

3 経済的・社会的孤立などの生活困窮者支援

社会生活・就労などに関して不安や困りごとを持つ人の相談に応じ、生活保護受給者を含め、生活に困窮している人の自立を支援します。

主な取り組み内容

- 自立相談支援機関「つながり応援センターよろず」の運営
- 専門機関とのネットワーク構築
- 生活保護からの自立支援

めざす姿

生活保護受給世帯数（年度実績）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
291 世帯					→					→

関連個別計画

地域福祉計画

実行部門

健康福祉部

連携施策

P.4-6,7 地域社会

4 困難を有する子ども・若者や家族への支援

困難を有する子ども・若者への総合相談窓口機能、支援プログラム、ネットワーク体制を拡充し、地域で支える条件を整備し、立ち直りや社会的自立につなげます。

主な取り組み内容

- 非行や犯罪、被害の未然防止活動
- 青少年相談、無職少年対策の推進
- 非行や犯罪、不登校やひきこもり状態への支援
- 若者相談、社会的自立へ向けた支援

めざす姿

子ども・若者の相談支援人数、件数（年度実績）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
130人 2,537件					↑					↑

関連個別計画

教育大綱、地域福祉計画、子ども・子育て支援あくしょんぶらん

実行部門

教育指導部

連携施策

P.2-20,21 青少年育成

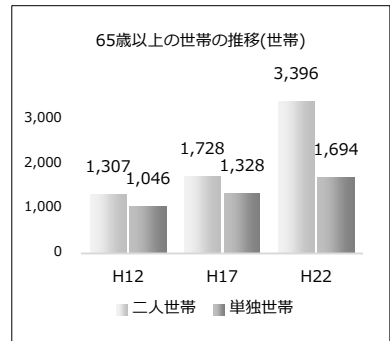
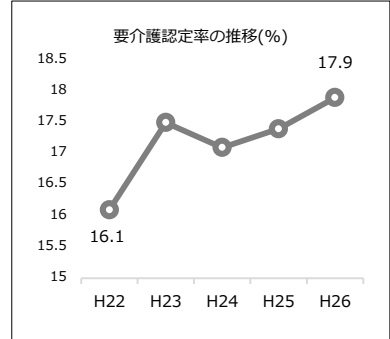
P.4-6,7 地域社会

施策項目
2

方針 **2** いつまでも地域で暮らせる体制を整えます

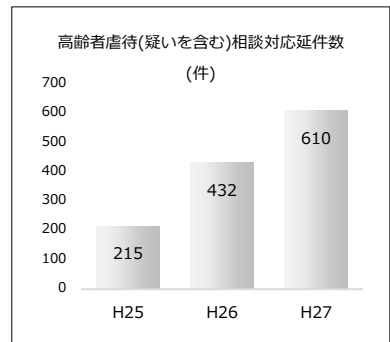
現状

- 要介護認定率は、平成22年は16.1%でしたが、平成26年は17.9%と増加傾向にあります。 *出典：市調査
- 65歳以上の二人暮らし世帯数は、平成12年は1,307世帯でしたが、平成22年は3,396世帯となっており大幅に増加しています。 *出典：国勢調査
- 65歳以上の単独世帯数は、平成12年は1,046人でしたが、平成22年は1,694人と増加傾向にあります。 *出典：国勢調査
- 高齢者に対する虐待について、相談に対応した延件数（疑いを含む）は、平成25年の215件から、平成27年は610件と大幅に増加しています。 *出展：市調査



課題

- 今後増加が見込まれる介護サービスについて、安心して利用できる体制を構築する必要があります。
- 高齢者同士や就労と子育てとの両立など、介護をとりまくさまざまな状況に応じた支援体制の充実と、その周知を図る必要があります。
- 高齢者虐待を未然に防止し、高齢者の生活を安定させるため、一層の普及啓発と介護関係者が連携を強化し、支援体制の充実を図る必要があります。



1 多様な主体による生活支援サービスの提供

ボランティアやNPO法人、民間企業や地域など多様な主体による生活支援サービスの提供体制を構築し、高齢者の暮らしの安心を支えます。

主な取り組み内容

- ・ 住民、ボランティア、NPO法人、企業等の連携強化
- ・ 多様な主体による生活支援体制の構築
- ・ 生活支援ボランティアの育成

めざす姿 生活支援サービス提供主体数（市調査）

現状(H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
132者					140者					150者

関連個別計画 高齢者福祉計画、介護保険事業計画

実行部門 健康福祉部

2 仕事や子育てが両立できる介護支援

在宅療養を望む方やその介護を担う家族への、仕事や子育てとの両立を支援する「ダブルケア相談窓口」を充実し、介護負担を軽減し在宅療養を支える体制を整えます。

めざす姿 「ダブルケア相談窓口」の相談件数（年度実績）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
0 件					↑					↑

関連個別計画 高齢者福祉計画・介護保険事業計画

実行部門 健康福祉部

連携施策 P.1-6,7 雇用環境 P.4-8,9 地域社会

主な取り組み内容

- ・ 家族介護教室の開催
- ・ 介護する家族への相談支援体制の充実
- ・ 男性介護者の会の開催

3 質の高い介護サービスの提供

介護人材の育成を通じて質の高い介護サービスを提供することで、適切な介護サービスが安心して利用できる体制を整えます。

めざす姿 介護従事者研修会受講数（年度実績）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
434 人					500 人					600 人

関連個別計画 高齢者福祉計画・介護保険事業計画

実行部門 健康福祉部

連携施策 P.1-6,7 人材育成 P.4-8,9 学校教育 P.4-10,11 キャリア教育

主な取り組み内容

- ・ 介護サービス事業の整備の充実
- ・ 人材育成の支援
- ・ 介護従事者研修の実施

4 高齢者虐待未然防止と相談支援体制の充実

高齢者虐待防止に関する啓発や相談窓口の周知、市民や介護関係者を対象とした研修会の開催により、早期発見につなげるとともに支援体制の充実を図ります。

めざす姿 虐待防止に関する研修会への参加延人数（年度実績）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
174 人					200 人					250 人

関連個別計画

実行部門 健康福祉部

主な取り組み内容

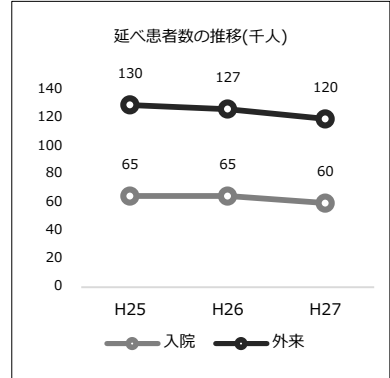
- ・ 虐待防止に向けた啓発や研修会の実施
- ・ 面接や訪問、電話での相談や支援

施策項目
2

方針3 保健や福祉と連携した医療サービスを提供します

現状

- 高島市民病院の延べ患者数は、平成27年度は入院が59,684人、外来が119,783人で減少傾向となっています。
- かかりつけ医を含むすべての医療機関との連携状況について、平成27年度の紹介率は37.20%、逆紹介率は39.59%となっています。
- 平成28年5月から、急性期*病棟5病棟210床のうち1病棟42床を地域包括ケア病棟に転換しました。
*急性期……傷病の発生から回復期へ至るまでのもっとも治療を必要とする期間
- 医療の質の向上、医療の標準化を目的に、平成28年4月からDPC(包括医療費支払い制度)対象病院となりました。
- びわ湖メディカルネット、淡海あさがおネットなどの地域ICTを導入し、開業医や他の保健医療圏の基幹病院と連携した医療を行っています。



課題

- かかりつけ医制度*を活用した、地域医療と連携した体制の構築を図る必要があります。
*かかりつけ医制度……高島市民病院とかかりつけ医との連携を強化する制度。具体的には市民病院での診察では、かかりつけ医からの紹介を優先するとともに、在宅へ戻られる患者に住居地の近くの登録医を紹介する
- 診療科目の維持とさらなる拡充を図り、市民が安心して利用できる病院経営を行う必要があります。
- 地域の中核病院として、地域医療支援病院の指定をめざす必要があります。
- 今後、高齢者の増加により、在宅で医療や介護を必要とする人の増加が見込まれます。在宅医療・介護を支える専門職が連携し、ご本人や家族を支援する必要があります。

1 地域完結型の医療サービスの提供

かかりつけ医制度を推進し、地域内における入院から在宅復帰までの切れ目のない医療サービスを提供し、病院完結型医療から地域完結型医療*をめざします。

主な取り組み内容

- ・ かかりつけ医制度の推進
- ・ 地域ICTネットワークを活用したシームレスな医療連携の推進

めざす姿 市民病院における紹介率（上段）、逆紹介率（下段）（年度実績）

現状(H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
37.2%	65.0%				→					→
39.6%	40.0%				→					→

関連個別計画 市民病院経営改革プラン

実行部門 市民病院

*地域完結型医療……かかりつけ医と急性期を担う病院、回復期を担う病院が連携して切れ目のない医療を提供すること

2 保健・福祉連携による在宅療養体制の構築

医療・保健・福祉・地域が連携・協働する在宅療養支援体制を構築し、住み慣れた場所で安心して最期まで暮らせる体制を整えます。

主な取り組み内容

- ・ 訪問看護ステーションの運営
- ・ 在宅医療・介護連携の推進
- ・ 多職種連携の強化
- ・ 在宅療養の相談体制の充実

めざす姿 在宅医療患者数（在宅医療に関する市アンケート調査）

現状 (H26)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
301人					330人					360人

関連個別計画 高齢者福祉計画、介護保険事業計画

実行部門 健康福祉部

3 救急医療情報の提供による安心感の確保

救急医療情報や健診・予防接種などの医療情報を提供し、安心して利用できる体制を整えます。

主な取り組み内容

- ・ 年末年始の救急歯科診療体制の確保
- ・ 救急医療情報システムの利用啓発
- ・ 健康だよりやメール配信による啓発

めざす姿 健康管理情報のメール配信登録者数（年度実績）

現状 (H28)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
1,021件					2,000件					3,000件

関連個別計画

実行部門 健康福祉部

連携施策 P.2-6,7 子育て支援

4 満足度の高い安定した病院経営

一定水準の医療提供体制を確保するとともに二次保健医療圏としての機能を維持することで、安心して適正な医療が受けられる満足度の高い病院経営を行います。

主な取り組み内容

- ・ 病院の健全経営
- ・ 診療科目の維持、拡充
- ・ 患者満足度の向上

めざす姿 1日当たりの外来患者数（上段）、1日あたりの入院患者数（下段）（年度実績）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
492.9人 163.1人				497.1人 182.7人	→ →					→ →

関連個別計画 市民病院経営改革プラン

実行部門 市民病院

第8回たかしま子ども美術展「みらいのたかしま～わたしがおとなになったとき」市長賞受賞作品



「ほしぞら かんさつかい」新旭南小学校1年／西川心さん